

要請番号 (JL04525A13)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	G157 日本語教育		個別	交替 3代目	2年	・2025/3・2026/1・ 2026/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

モンゴル国立大学総合科学部アジア学科

3) 任地 (ウランバートル市) JICA事務所の所在地 (ウランバートル市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1942年設立。地方にも分校がある。全学生数約2万人、全教員数約630人。1975年に当国で初めて日本語教育を実施し、日本語教育の中心的役割を果たしてきた。隊員が配属されるアジア学科では日本語のほか、中国語、韓国語、トルコ語、アラビア語が専攻できる。日本語は常勤10名、非常勤5名の教師が担当。日本語専攻の学生が約200名(2~4年生)、選択科目として学ぶ学生が約500人(同)となっている。首都の本校では過去10名の隊員受入れ経験があり、うち日本語教育隊員は2名。前任者(2022年度7次隊)は、文法や会話聴解等の授業のほか、学部を問わずに参加できる会話クラブ等の活動を実施した。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国への日本語教育支援は1990年代から始まり、多くのモンゴル人日本語教師を輩出してきた。配属先には、過去、国際交流基金の専門家や青年教師が派遣されていたが、その派遣終了後、学生がネイティブから指導を受ける機会、またコミュニケーションを取る機会が乏しくなり、JICA海外協力隊の派遣が要請された。協力隊の派遣開始によって、学生の学習意欲が明らかに向上したことから、配属先は、引き続き協力隊に対して、学生の会話や聴解能力等日本語力の向上、また、日本や日本文化に関する知識を深めるサポートを期待している。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 授業を担当し、学生に指導を行う(現時点では、文法、会話、聴解のクラスが想定されている)。
- 日本、日本語、日本文化を紹介するイベントをサポートする。
- 日本語能力試験及び日本語スピーチコンテスト等のサポート。
- モンゴル日本語教師会の活動へのサポート。

※モンゴル日本語教師会は、主に首都で活動している日本語教師が任意で参加する研究会。国際交流基金の専門家と協力して実施中。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、椅子、PC、プリンター、教科書「みんなの日本語」、いろいろ、書籍棚等

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:日本語教師10人(40~50代、日本語能力試験1級またはN1合格、修士号保持者、日本語教育年数は18~29年、各々留学経験や訪日研修の経験あり)

活動対象者:同僚及び大学の学生約700人、日本語教師会の教員約20人

5) 活動使用言語

モンゴル語

6) 生活使用言語

モンゴル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(日本語教育に関する資格)

[学歴]：(大卒) 備考：高等教育機関での活動

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：経験に基づく指導が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(ステップ気候) 気温：(-30～30℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

11月から3月にかけて、平均気温は氷点下となり寒さが厳しい。首都では冬季の大気汚染が社会問題になっている。